

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立の前に…
 商品を正しく組立していただくために、説明書の内容をご確認ください。
 商品の組立については必ず本説明書に従ってください。

組立の後に…
 施工完了後に取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
 誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
 作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明書内の図は全てエイピア J で示しています。

チェックシート

組立時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

項目	チェック欄
① 組立時、トルク調整をしましたか？	
② シーラーの位置ずれ・折れ曲がりはないですか？	
③ 調整後、ねじを締め付けましたか？	

注意

- 樹脂部はアルミ部に比べ破損しやすいため、取扱いには十分ご注意ください。
- 反り、変形等防止のため、樹脂部を直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 保管・運搬の際は樹脂部に直接荷重がかからないようご注意ください。

お願い

- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。
 サッシからの漏水は、家屋を傷め施主様から賠償を求められることがあります。
- 組立は所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
 締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
- 施工完了後、説明書に従って調整を行ってください。
 調整不良は、操作不良や異常音の原因になります。
- 施工説明書は、枠取付用ねじ袋とともに、必ず施工業者様へお渡しください。

同梱一覧

番号	①	②	③				
姿 図							
品 名	中トラスタピンねじ 2種(φ4×25)	皿小ねじ (φ4×15)	丁 番				
品 番	BM-4025GD8	MF-4015	5K-11220 [5K-11224]	5K-11221 [5K-11225]	5K-11222 [5K-11226]	5K-11223 [5K-11227]	
個 数	エイピア J 片開き	12	N3	N1 枚(1組)		N1 枚(1組)	
				N2	1	N2	1
	両開き	12	2N3	N1 枚(1組)		N1 枚(1組)	
				N2	1	N2	1
フレミング J	8	N3	N1 枚(1組)		N1 枚(1組)		
			N2	1	N2	1	
備 考		丁番取付用	右勝手・中用	右勝手・中用	左勝手・中用	左勝手・中用	

[]内は防火仕様の場合です。

	H	N1	N2	N3	2N3
在来 プラットホーム対応枠	1409≦H≦2030	2	1	16	32
2×4	2030<H≦2230	3	2	24	48
	1449≦H≦2070	2	1	16	32
	2070<H≦2270	3	2	24	48
2×4単純段差枠	1439≦H≦2060	2	1	16	32
	2060<H≦2260	3	2	24	48

1. 枠の組立

注意

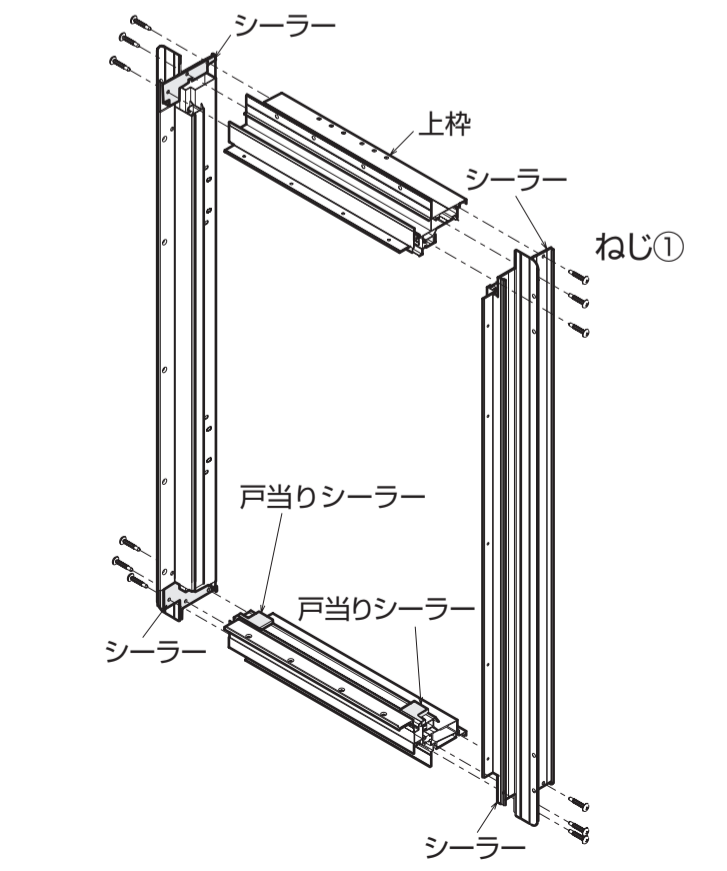
シーラーの位置ずれ・折れ曲がりのないこと

下枠
戸当り
シーラー

フレミング J の場合

各コーナー2本ずつでのねじ止めになります。

上枠
シーラー
ねじ①



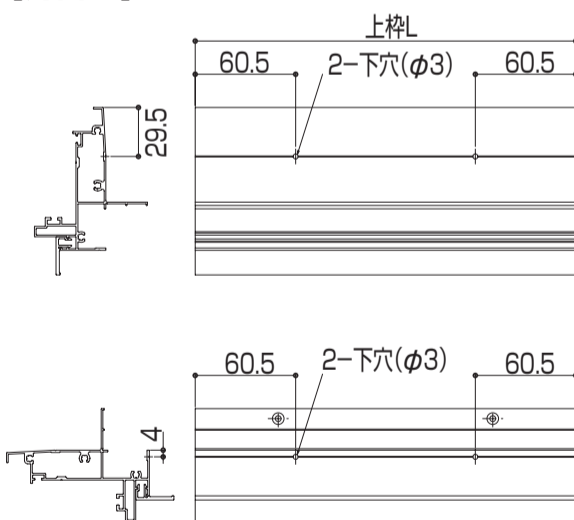
注意

組立時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
2.0~2.5N・m(20~25Kgf・cm)程度

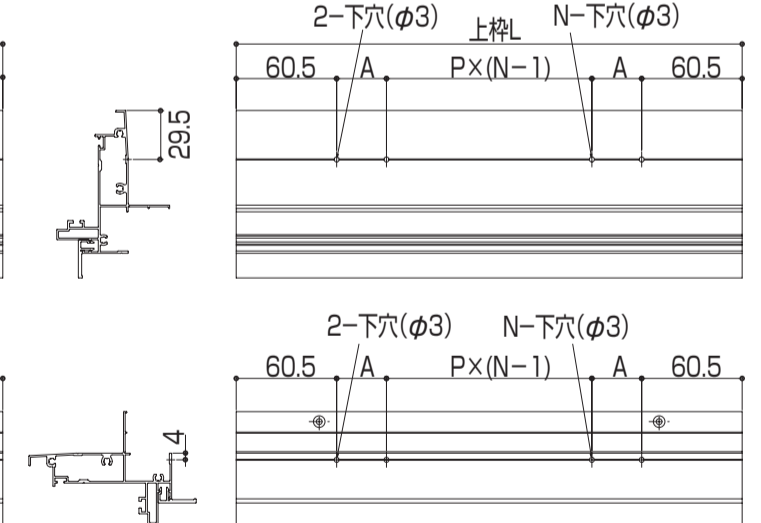
●**段窓の場合**

上枠の両端部に無目の取付位置決め用の下穴φ3をあけてください。

【片開き】



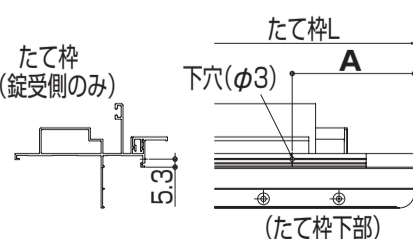
【両開き】エイピア J のみ



W	上枠L=W-19	A	P	N
1000≦W<1040	981≦L<1021	A=(上枠L-121)/2	-	1
1040≦W<1440	1021≦L<1421	A=[上枠L-400(N-1)-121]/2	400	2
1440≦W<1690	1421≦L<1671			3

●**連窓の場合**

錠受け側たて枠下部に方立の位置決め用の下穴(φ3)をあけてください。



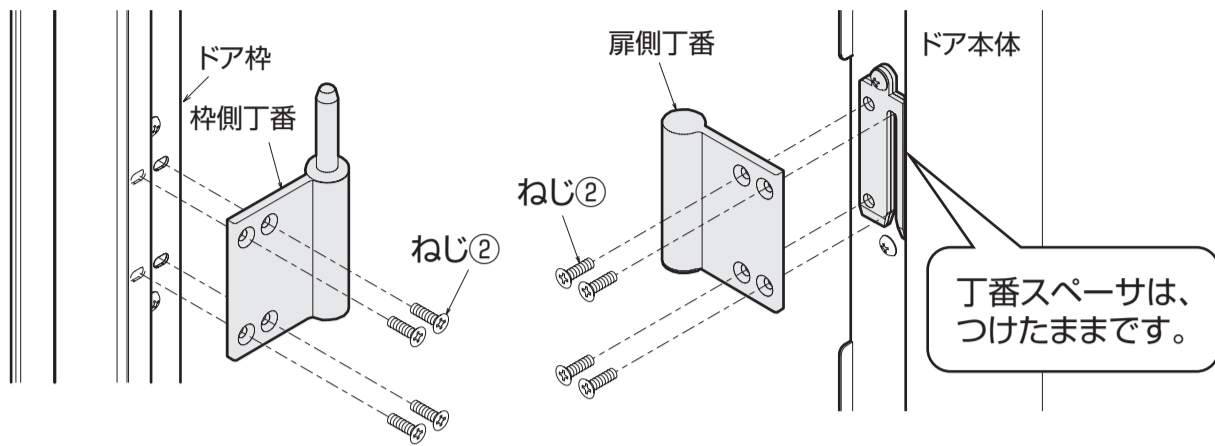
A寸法

	エイピア J	フレミング J
在来工法、2×4工法	81	82
プラットフォーム対応枠、単純段差下枠仕様	82	-

注意

吊り元側に連窓はできません。

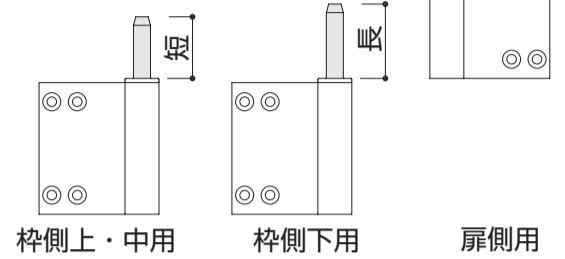
2. 丁番の取付



ポイント

丁番は、上下の区別があります。(枠側用)

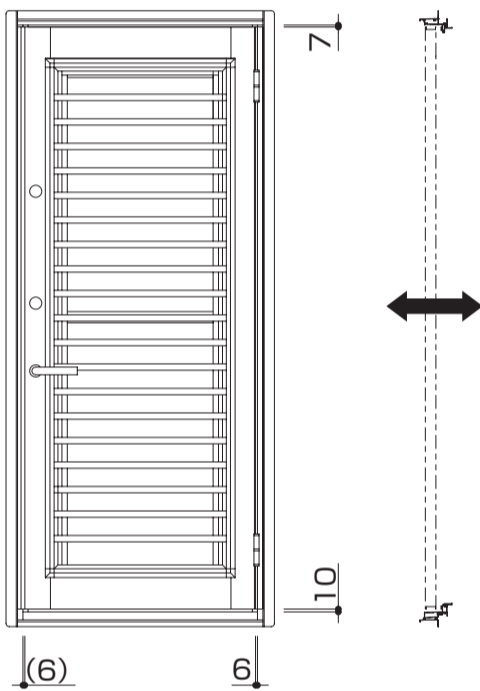
- 軸の長い丁番…枠側下用
- 軸の短い丁番…枠側上・中用



3. 建付調整



枠を取付けた後、調整が必要な場合、丁番部で建付調整することができます。(丁番での調整は、あくまでも補足的なものであり、調整量には限界があります。)



注意

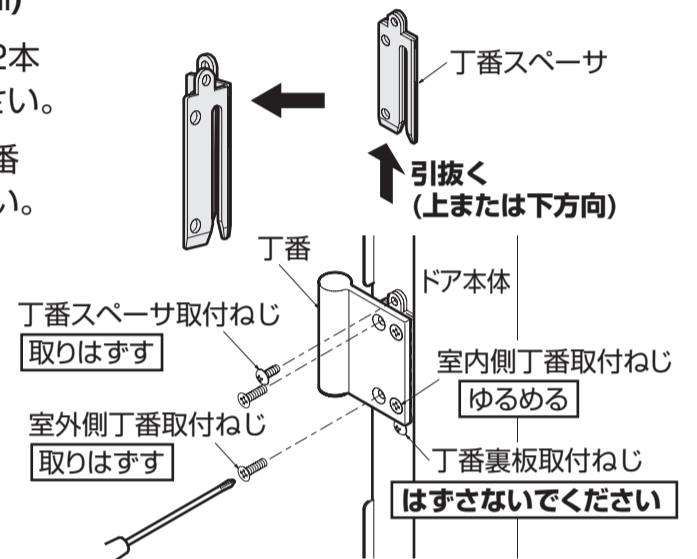
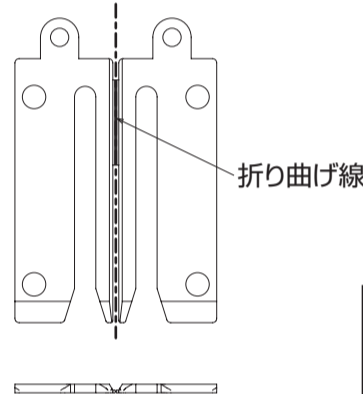
丁番裏板取付ねじは、はずさないでください。扉が脱落する場合があります。

ポイント

チリ調整は、主錠および補助錠をかけた状態で行ってください。

左右方向の調整 (調整範囲：1.5mm、3mm)

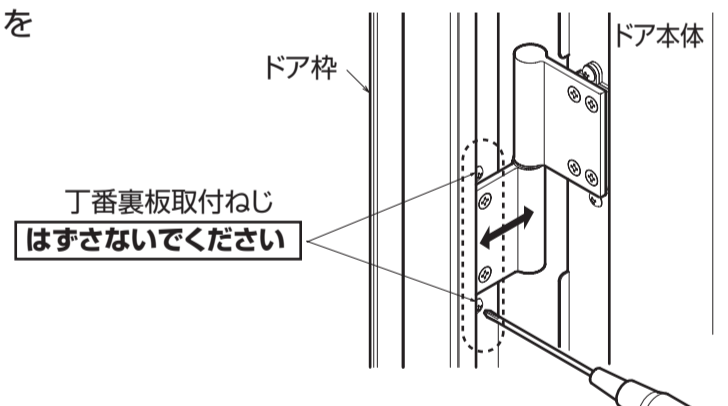
- 1 ドア側の丁番取付ねじ(4本)のうち、室外側の2本および丁番スペーサ取付ねじをはずしてください。
- 2 残りの室内側丁番取付ねじ(2本)をゆるめ、丁番スペーサを上または下方向へ引抜いてください。
- 3 調整後、ねじを全て締め付けてください。



スペーサを切り離して使用…吊元側へ1.5mm
スペーサを使用しない…吊元側へ3mm

室内外方向の調整 (調整範囲 室内側：1mm 室外側：2.5mm)

- 1 枠側の丁番裏板を止めているねじ(2本)をゆるめてください。
- 2 丁番取付ねじ(4本)をゆるめて調整を行ってください。
- 3 調整後、ゆるめたねじを全て締め付けてください。

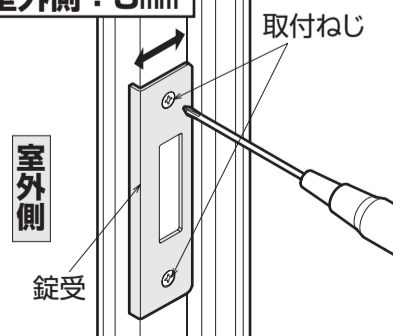


4. 錠受調整



ロックのラッチボルトがかかりにくい場合は、取付ねじをゆるめ、錠受を調整してください。調整後、必ずねじを締め付けてください。

室内側：1mm
室外側：3mm

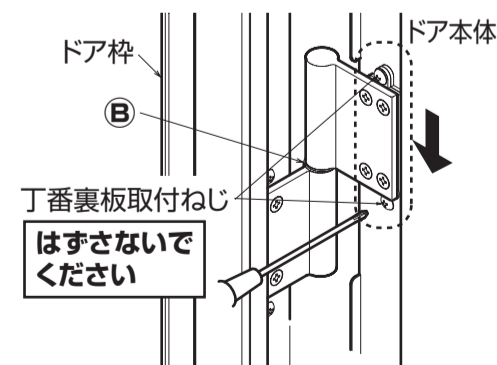


5. 丁番間の調整



丁番間にすき間がある場合は扉側の丁番を調整してください。(調整範囲 下側：1.5mm)

- 1 扉側の丁番裏板を止めているねじ(2本)をゆるめてください。
- 2 丁番取付ねじ(4本)をゆるめて調整を行ってください。丁番間のすき間がないこと(Ⓑ部)を確認してください。
- 3 調整後、ゆるめたねじを全て締め付けてください。



お願い

下枠の錠側に施工用位置決めブロックがついています。施工・建付調整に用いてください。調整完了後は取除いてください。

